

NPO紹介シート

作成日 平成19年6月30日

作成者 原田美藤

法人格	フリガナ	モコクラブ	フリガナ	ハラダミフジ	団体設立日	平成18年4月1日		
無	団体名	モコクラブ	代表者名	原田美藤	法人設立日			
活動地域	松山市内、全国		正会員	賛助会員	事務局	ボランティア		
主たる活動の種類	教育・福祉		個人	10人	10人	有償	有償	
従たる活動の種類	子育て		団体			無償	3人	無償 20人
所在地	790-0853		= ~					
	松山市上市二丁目6-9-2	単位千円	収入合計	会費	寄附金	自主事業	委託事業	助成金
TEL	089-932-4631	18年度	1,401	1				1,400
FAX	089-932-4631	17年度						
Eメール	mifuji@bc.mbn.or.jp	16年度						
ホームページアドレス								

* 下記は、箇条書きでわかりやすくご記入ください。

団体設立のきっかけ	自己評価
<p>愛媛県聴覚障害児を持つ親の会に当事者として所属、今後、より幅広い活動をしていきたい。また、愛媛大学での研究実績、専門性を活動に反映し、健常者と障害者の融合を目指した社会の実現に努めていきたい。</p>	<p>(各32点満点)</p> <p>評価指標は千葉県「NPO家計簿」より</p>
主な活動実績	
<p>松山市「学校生活支援員」制度構築への提言 愛媛県難聴児を持つ親の会会長として講演会活動、幼児の親へのピアカウンセリング 学会における研究発表（松山市学校生活支援員制度関係）及び講演活動 愛媛大学での障害者修学支援委員として学内の聴覚障害学生の支援 手話の会での活動</p>	
今、力を入れている活動	
<p>幼児期の聴覚障害児を持つ親へのピアカウンセリング 聴覚障害者の体験学習ゲームの制作 通常教育機関での障害者の受け入れのノウハウのコンサルタント 手話講習会の実践 人権学習（障害者を通して）</p>	

NPO連携シート

団体の目的・目標	わたしたちの強み
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育機関で健常者(児)と障害者(児)の子育て支援を行う。(幼児～大学生) ・ 社会への障害者理解活動を行う。(特に教育現場への啓蒙啓発活動) 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 障害児教育の中でも特に聴覚障害については筆者が親としての子育て経験を有していること。 2) 専門機関との連携がとれること 3) サポートシステムについて、これまで研究実績があること(専門性が高い)
<p>今後、団体に必要と思われること、モノなど</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 聴覚障害理解を目的とした教材製作に有する費用 例) DVD、テキスト、パンフレット等 	
<p>目標達成のため連携したいことがあればお書きください。 どんな団体と?どんな風に? (アイデア程度でいいです)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育機関・障害児(者)団体との連携 (下記の内容について提供可能なので、ニーズのある団体又は個人を紹介していただくと有難いです) <ol style="list-style-type: none"> 1. ピアカウンセリング 2. 教育者研修 3. 聴覚障害体験学習 4. 障害児家庭教師の斡旋 5. 高等教育における障害者支援コンサルタント事業 6. 手話講習会、人権学習会・講演会 <p>市教育委員会、県教育委員会からの委託事業として活動を広げていければいいと思います。</p>	

NPO自己評価チェックリスト

出展:千葉県「NPO家計簿フォーマット」より

このチェックリストは、みなさんが自分たちの団体を振り返り、よりよい活動にしていくための指標です。また評価内容を公開することで、団体の透明性が増し、市民の信頼を得ることができます。点数は1:できていない 2:あまりできていない 3:まあまあできている 4:できている です。

1. 課題・ニーズを発見する力	合計:	21
◆様々な手法による課題・ニーズの把握		
1) 参加者、利用者の方々と話をして情報収集をしている。		2
2) 課題やニーズを把握するためのアンケート等の調査をしている。		2
3) 地域や他の団体、関係機関との意見交換や交流の場を設けている。		2
4) 行政、または新聞、書籍、テレビなどのマスメディアから情報収集をしている。		3
◆課題・ニーズを把握するための環境		
1) 課題やニーズを調査するための人材や環境が整っている。		2
2) 課題やニーズを発見するためのネットワークや仕組みを持っている。		4
3) 課題やニーズについて得た情報について、団体で話し合っている。		2
4) 課題やニーズについて得た情報を事業に活かしている。		4

2. 広報を活かす力	合計:	18
◆様々な手法による広報活動		
1) 機関紙、ホームページ等で団体の活動を紹介している。		2
2) 行政が発行する広報誌や新聞、テレビ等のマスメディアを活用している。		2
3) 様々な行事やイベント等に参加して、団体の活動をPRしている。		2
◆広報の対象についての調査、活用		
1) 伝えたい対象者がはっきりわかっている。		3
2) 伝えたい対象者について、事前に情報を収集している。		4
3) 得た情報や調査の結果が、広報をするときに効果的に反映されている。		3
◆広報結果の調査、整理		
1) 広報をした結果について振り返りなどの調査をしている。		1
◆広報活動の環境		
1) 広報に関する仕事ができる専門家やスタッフがいる。		1

3. 組織を育てる力	合計:	16
◆人材の受け入れ、育成		
1) 事業に参加を希望する人を受け入れている。		4
2) スタッフや新人が研修するための機会を、組織内外において設けている。		3
◆組織全体で進める体制		
1) 理事会と現場のスタッフとの意思の疎通や連携がうまく取れている。		2
2) スタッフ全員で団体の課題や事業等について定期的に話し合っている。		2

◆外部力の導入、活用

- | | |
|---|---|
| 1) 分野の異なる団体や企業が開催しているフォーラム等の集まりに参加している。 | 1 |
| 2) 地域や他の団体等と勉強会や研修会をしている。 | 2 |
| 3) 外部の人を積極的に活用している(インターンシップ等) | 1 |

◆仕事を行う環境

- | | |
|--|---|
| 1) スタッフやボランティアが安心・安全に活動できる制度(保険等)が整っている。 | 1 |
|--|---|

4. 事業を推進する力 合計: 21

◆目標や計画の設定、立案

- | | |
|---|---|
| 1) 団体のビジョン、社会的な役割、活動の将来像が描かれている。 | 4 |
| 2) 目標を実現するための事業について具体的な目標や実施計画が立てられている。 | 4 |

◆取り組みの姿勢、実施体制

- | | |
|---|---|
| 1) 目標や計画の設定、立案が団体内で理解、共有化され、
実現に向けて組織全体で取り組んでいる。 | 2 |
| 2) 事業の企画、運営管理、総務(労務、経理)についてよくわかる人がいる。 | 2 |
| 3) 事業を進める上で、多様なネットワークからの支援、協力を求めることができる。 | 3 |

◆事業評価、分析、活用

- | | |
|--|---|
| 1) 計画と実績の、経費バランスの評価、検証ができています。 | 2 |
| 2) 費用対効果を含めた事業の成果について全体で検討し、改善、活用している。 | 2 |
| 3) 外部からの意見、要望、問い合わせ、クレーム等を事業へ反映させている。 | 2 |

5. 財源を生み出す力 合計: 21

◆経営の安定化を図る活動

- | | |
|---|---|
| 1) 事業づくりのための営業的活動や企画提案等をしている。 | 3 |
| 2) 安定した収益を得るための基盤となる会員拡大や事業づくりに取り組んでいる。 | 2 |

◆事業の創出、財源確保の手法

- | | |
|---|---|
| 1) 他の団体、または企業との連携や協働事業に取り組んでいる。 | 2 |
| 2) 企業や行政等が実施する公募事業(委託事業等)に応募している。 | 2 |
| 3) 行政、企業、市民等による補助金、支援金を活用している。 | 4 |
| 4) 財源を確保するために団体独自の方法がある。 | 3 |
| 5) 様々な地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報、文化、産業など)を活用している。 | 3 |

◆専門機関の活用

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 団体経営や事業の運営等について中間支援団体や専門家に相談している。 | 2 |
|--------------------------------------|---|